

6月といえば梅雨、雨が続くといやですね。しかし雨が降ることで作物や野菜が育つわけですから、なくてはならないことも事実です。適度な梅雨であって欲しいものです。



さて、WINDOWS10がもうすぐ（7月末）リリース（発売）されます。WINDOWS7、WINDOWS8.1利用者は、1年間は無料でアップグレードできるようです。WINDOWS7でおなじみのスタートボタンが復活したり音声入力での調べが可能となったり、インターネットエクスプローラーに加えて、新ブラウザSpartan（インターネットを閲覧するためのソフトウェア）が搭載されたりするようです。WINDOWS8があまり評判よくなかっただけにWINDOWS10には期待してしまいますね。

パソコン教室開催日						
2015 << 6月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

なお、6月の開講日は右の通りですよろしくお願します。



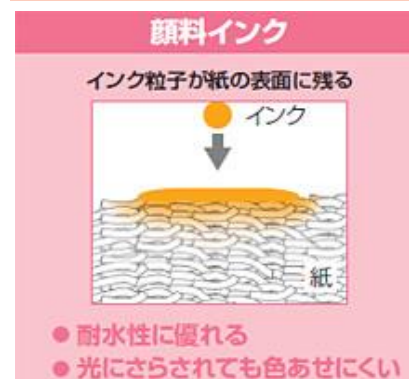
豆ちしき

プリンターの「染料インク」と「顔料インク」

プリンターに使われる主なインクは、【染料インク】と呼ばれるものです。染料インクは、色材（色を構成する”つぶ”のことです）が水に溶け込んで、インクを形成しています。その色材と水が、紙に吹き付けられることにより、紙の繊維に染み込んで、色を発色しています。

一方【顔料インク】は、色材が水に溶け込まず、独立した”分子”（小さいつぶです）として、紙に吹き付けられます。

染料インクは、紙に吹き付けられると、紙に染み込み、水と一緒に紙に染み込むので、”にじみ”が出てしまうのです。また、水と一緒に紙に染み込みにじむということは、空気に触れる面積が大きくなって、インクの酸化が早く進み、印刷が色あせるのが早まってしまいます。



一方、顔料インクは水に溶け込んでいませんので、紙に吹き付けられたときには、“分子”として水とは別に紙の表面に貼りついて色を出しますので、にじむことはほとんどありません。また、空気に触れる面積も少ないため、染料に比べて色が長持ちします。



しかし、顔料インクにも欠点もあります。まず、顔料が分子（つぶ）なので、プリンターヘッドが詰まりやすいのです。また、紙の表面に粒で貼りついているため、写真などを印刷したときに、微妙な凹凸ができて、光沢が出づらくなってしまうということです。

また、「顔料インク」は、インクの粒子が紙の表面に残る特徴があります。用紙の中でインクと水が混ざりにくいため、水に濡れてもにじみが抑えられます。このため、屋外のポスターなどに向いています。半面、光沢紙のような表面がツルツルした用紙に印刷したとき、表面をこするとインクがはがれてしまうことがあります。

一方「染料インク」は、インクが紙の繊維質に浸透します。用紙表面にインクの凹凸ができなため、顔料インクより印刷結果がきれいです。しかし、用紙を濡らすと紙の繊維質に浸透しているインクと水が混じり、にじみます。

なおプリンターメーカーは、こういったインクの欠点を補うような工夫をしています。例えば、セイコーエプソンの顔料インク搭載機は、写真印刷の際に無色インクを吹き付け、染料インク並みの美しさに仕上がるようにしています。一方キヤノンは、黒インクに顔料インク、カラーインクに染料インクを搭載。はがき宛名などのモノクロ印刷と写真などのカラー印刷で、インクの使い分けが可能な製品を発売しています。



使えるキーボード ショートカット

Ctrl + A すべて選択する

Ctrl + X 切り取り

Ctrl + C コピーする

Ctrl + Z 元に戻す

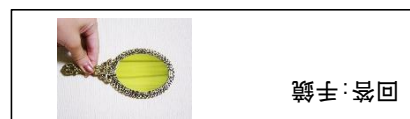
Ctrl + V 貼り付け

Ctrl + Y 操作をやり直す（元に戻したのをやめる）

※一度試してみてください!!



女性を象徴する「♀」は何を表す



題主：景回